

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コベルプラス日吉第二教室		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		2026年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	74	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	2025年11月3日		2025年11月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の特性に応じた専門性のある支援を提供できている	日々の保護者様とのフィードバックや子育てサポートを通してお子様の日々の変化に合わせて支援内容を共有、工夫して実施しております。	専門的な知識をより蓄えていき、お子様との関わりや保護者様とのやりとりを通してより実態に見合った見立て、及び支援方法を考えていきます。
2	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われている	ご家庭での様子の把握も大切に行い、見立てや行動分析等教室内外の面からお子様の支援が行えるように取り組んでおります。	ご家庭のお悩みに合わせて書籍や外部の支援情報の繋がりを設けるなど、幅広い対応策を検討する。
3	お子様が安心感をもって通所できる環境になっている	課題科目への挑戦や「できた」を大切に支援を心がけております。お子様が自分自身の可能性に気付けるように自己分析を通して自己肯定感を高める関わりを行っております。	お子様がどこに対して安心感を抱いているのかを改めて分析し、お子様の特性に合わせた関わり方をしているよう努めていきます。また、お子様の「好き」を強みに変えていける環境を整えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育スペースに限りがあり、活動内容によっては窮屈感を与えてしまうこと	設備面で療育スペースに限りがある為、お子様の多い時間帯になると保護者も含めて人数が多くなってしまいます。	人が多くなる時間帯が想定される状況では誘導方法や危険予測を事前の打ち合わせを通して事前に対応を検討できるように努めていきます。
2	地域の方々との交流の場や機会がない	1時間の療育時間やプログラムの内容の特性上、まとまった交流の時間を設けることができていない。	イベント時の企画など、対応可能な範囲を模索していきます。
3	保護者同士の交流の機会が少ない	集団での支援等同じ悩みを持った保護者が集まれる時間帯の確保が難しい。	ペアトレ等のニーズに沿って交流が出来る環境設定を模索していきます。